



平成 19 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社東理ホールディングス  
 コード番号 (5856) 上場取引所 東  
 代表者名 代表取締役社長 福村 康廣  
 問合せ先 取締役経営企画室長 忍田 登南  
 T E L (03) 3548-1014

**(訂正・数値データ訂正あり) 平成 19 年 3 月決算短信**

平成 19 年 5 月 25 日、平成 19 年 5 月 29 日及び平成 19 年 6 月 25 日に発表しました標記開示資料について訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データについてもお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

この訂正による平成 19 年 3 月期の連結損益計算書（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）への影響はありません。今後は開示文書に対するチェック体制を強化し、事務的ミスの再発防止に努めてまいります。

記

「平成 19 年 3 月決算短信」の訂正箇所

【訂正箇所】 1 ページ

1. 19 年 3 月期の業績（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(百万円未満切捨て)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

《修正前》

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期	1,564	<u>△2,802</u>	△4,266	<u>3,580</u>
18 年 3 月期	△40	△11,347	18,978	8,876

《修正後》

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期	1,564	<u>△2,818</u>	△4,266	<u>3,564</u>
18 年 3 月期	△40	△11,347	18,978	8,876

【訂正箇所】 5 ページ

II 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

《修正前》

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況並びに現金及び現金同等物の増減と残高は以下の通りとなりました。

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、35 億8千万円で前連結会計年度末より 52 億9千6百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15 億 6 千 4 百万円となりました。この主な内訳は、販売用不動産の売却に伴う、たな卸資産の減少 11 億 7 千万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△34 億 8 千 5 百万円となり、その主な内訳は、有価証券の取得による支出 6 億 7 百万円、売却による収入 7 億 2 千 5 百万円、投資有価証券の取得による支出 25 億 2 千 1 百万円及び関係会社への貸付の純減少による貸付金の回収3億2千4百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△42 億 6 千 6 百万円となり、その主な内訳は自己株式の取得 30 億 3 千 5 百万円、配当金の支払い 14 億 2 百万円であります。

(単位:百万円)

	前連結 会計年度	当連結 会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40	1,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,347	<u>△2,802</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,978	△4,266
現金及び現金同等物の増減額	7,590	<u>△5,503</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,286	8,876
資金範囲の変更による現金及び現金同等物の増加高	—	207
現金及び現金同等物の期末残高	8,876	<u>3,580</u>

《修正後》

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況並びに現金及び現金同等物の増減と残高は以下の通りとなりました。

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、35 億 6 千 4 百万円で前連結会計年度末より 53 億 1 千 1 百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15 億 6 千 4 百万円となりました。この主な内訳は、販売用不動産の売却に伴う、たな卸資産の減少 11 億 7 千万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△28 億 1 千 8 百万円となり、その主な内訳は、有価証券

の取得による支出 6 億 7 百万円、売却による収入 7 億 2 千 5 百万円、投資有価証券の取得による支出 25 億 2 千 1 百万円及び関係会社への貸付の純減少による貸付金の回収3億2千4百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△42 億 6 千 6 百万円となり、その主な内訳は自己株式の取得 30 億 3 千 5 百万円、配当金の支払い 14 億 2 百万円であります。

(単位:百万円)

	前連結 会計年度	当連結 会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40	1,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,347	<u>△2,818</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,978	△4,266
現金及び現金同等物の増減額	7,590	<u>△5,519</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,286	8,876
資金範囲の変更による現金及び現金同等物の増加高	—	207
現金及び現金同等物の期末残高	8,876	<u>3,564</u>

【訂正箇所】 12 ページ

4. 連結財務諸表等

(1) 連結貸借対照表

《修正前》

区分	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
<b>I 流動資産</b>				
1 現金及び預金	8,867,236		3,561,668	
2 預け金	9,229		<u>18,584</u>	
3 受取手形及び売掛金	3,099,787		4,922,121	
4 有価証券	247,325		683,508	
5 たな卸資産	7,319,878		4,617,920	
6 短期貸付金	805,154		1,466,680	
7 未収入金	388,944		567,237	
8 繰延税金資産	485,399		84,115	
9 その他	291,055		295,565	
貸倒引当金	△ 29,658		△ 167,807	
流動資産合計	21,484,353	64.0	16,049,594	60.4
	(以下省略)			

《修正後》

区分	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
<b>I 流動資産</b>				
1 現金及び預金	8,867,236		3,561,668	
2 預け金	9,229		<u>2,810</u>	
3 信用取引保証金	—		<u>15,773</u>	
4 受取手形及び売掛金	3,099,787		4,922,121	
5 有価証券	247,325		683,508	
6 たな卸資産	7,319,878		4,617,920	
7 短期貸付金	805,154		1,466,680	
8 未収入金	388,944		567,237	
9 繰延税金資産	485,399		84,115	
10 その他	291,055		295,565	
貸倒引当金	△ 29,658		△ 167,807	
流動資産合計	21,484,353	64.0	16,049,594	60.4
	(以下省略)			

【訂正箇所】 17 ページ

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

《修正前》

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
(以上省略)		
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△ 1,204,209	△ 670,729
有価証券の売却による収入	2,306,838	725,500
有形固定資産の取得による支出	△ 5,965,615	△ 942,546
有形固定資産の売却による収入	533,196	336,177
投資有価証券の取得による支出	△ 4,161,108	△ 2,521,120
投資有価証券の売却による収入	431,126	7,805
貸付金の貸付による支出	△ 6,434,947	△ 18,147,840
貸付金の回収による収入	5,535,389	18,472,926
営業譲渡による収入	-	121,595
営業譲受による支出	△ 260,000	△ 88,870
子会社株式の取得による支出	△ 1,724,401	△ 63,300
子会社株式売却の売却による収入	-	466,542
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 219,935
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	821,729
無形固定資産及びその他投資の取得による支出	△ 614,820	△ 1,183,525
無形固定資産及びその他投資の売却による収入	210,790	83,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,347,762	△ 2,802,268
(中略)		
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	7,590,310	△ 5,503,688
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,286,155	8,876,466
VI 連結追加に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	207,475
VII 現金及び現金同等物の期末期末残高	8,876,466	3,580,252

《修正後》

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
(以上省略)		
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△ 1,204,209	△ 670,729
有価証券の売却による収入	2,306,838	725,500
有形固定資産の取得による支出	△ 5,965,615	△ 942,546
有形固定資産の売却による収入	533,196	336,177
投資有価証券の取得による支出	△ 4,161,108	△ 2,521,120
投資有価証券の売却による収入	431,126	7,805
貸付金の貸付による支出	△ 6,434,947	△ 18,147,840
貸付金の回収による収入	5,535,389	18,472,926
営業譲渡による収入	-	121,595
営業譲受による支出	△ 260,000	△ 88,870
子会社株式の取得による支出	△ 1,724,401	△ 63,300
子会社株式売却の売却による収入	-	466,542
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 219,935
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	821,729
無形固定資産及びその他投資の取得による支出	△ 614,820	△ 1,183,525
無形固定資産及びその他投資の売却による収入	210,790	83,322
その他	-	△ 15,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,347,762	△ 2,818,042
(中略)		
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	7,590,310	△ 5,519,462
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,286,155	8,876,466
VI 連結追加に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	207,475
VII 現金及び現金同等物の期末期末残高	8,876,466	3,564,478

【訂正箇所】 30 ページ

デリバティブ取引関係

2 取引の時価等に関する事項

《修正前》

通貨関係

区分	種類	前連結会計年度末(平成18年3月31日)				当連結会計年度末(平成19年3月31日)			
		契約額等 (千円)	契約額等の うち1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)	契約額等 (千円)	契約額等の うち1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル(注2)	4,739,840	4,232,000	△ 249,489	327,160	4,232,000	3,724,160	△ 128,915	120,573
	売建 米ドル(注3)	4,739,840	4,232,000	249,489	249,489	4,232,000	3,724,160	128,915	△ 120,573
	合計	9,479,680	8,464,000	-	576,649	8,464,000	7,448,320	-	-

《修正後》

通貨関係

区分	種類	前連結会計年度末(平成18年3月31日)				当連結会計年度末(平成19年3月31日)			
		契約額等 (千円)	契約額等の うち1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)	契約額等 (千円)	契約額等の うち1年超 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	為替予約取引								
	買建 米ドル(注2)	4,739,840	4,232,000	△ 249,489	327,160	4,232,000	3,724,160	△ 128,925	△ 128,925
	売建 米ドル(注3)	4,739,840	4,232,000	249,489	249,489	4,232,000	3,724,160	128,925	128,925
合計		9,479,680	8,464,000	-	576,649	8,464,000	7,448,320	-	-

【訂正箇所】 32 ページ

企業結合等関係

《修正前》

当連結会計年度（自 平成 18 年度 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日）

1. 分離先企業の名称及び譲受した事業の内容、事業譲受を行った主な理由、事業譲受日、事業譲受の法的形式を含む事業譲受の概要

(1)分離先企業の名称及び事業譲受の内容

豊創フーズ株式会社

(2)企業結合を行った主な理由

株式会社ボン・サンテの行う食品流通事業との相乗効果がそれほど見込めず、今後の経営効率上、同事業を譲渡することが望ましいと判断したため。

(3)事業分離日

平成 19 年 3 月 30 日

(4)法的形式を含む事業譲受の概要

株式会社ボンサンテを分離元企業とし、豊創フーズ株式会社を分離先企業とする事業譲渡を実施しました。

2. 営業譲受が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

売上高 953 百万円

営業利益 23 百万円

経常利益 23 百万円

《修正後》

当連結会計年度（自 平成 18 年度 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日）

（事業分離）

・子会社 株式会社ボン・サンテ外食事業部の譲渡

1. 分離先企業の名称及び譲渡した事業の内容、事業譲渡を行った主な理由、事業譲渡日、事業譲渡の法的形式を含む事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称及び事業譲渡の内容

分離事業

株式会社ボン・サンテ 外食事業部（内容：西安料理 刀削麵荘の運営）

分離先企業

豊創フーズ株式会社

(2) 事業譲渡を行った主な理由

株式会社ボン・サンテの行う食品流通事業との相乗効果がそれほど見込めず、今後の経営効率

上、同事業を譲渡することが望ましいと判断したため。

(3) 事業譲渡日

平成19年3月30日

(4) 法的形式を含む事業分離の概要

株式会社ボン・サンテを分離元企業とし、豊創フーズ株式会社を分離先企業とする事業譲渡を実施しました。

2. 事業の種類別セグメントにおいて、分離した事業が含まれていた事業区分の名称

食品流通事業

3. 当該連結会計年度の連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 953百万円

営業利益 23百万円

経常利益 23百万円

・子会社コブコ株式の譲渡

1. 分離先企業の名称、分離した事業の内容、事業分離を行った主な理由、事業分離日及び

法的形式を含む事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称及び分離した事業の内容

分離企業

コブコ株式会社 不動産事業

分離先企業

株式会社ヒューネット 不動産事業

(2) 法的形式を含む事業分離の概要

当社から株式会社ヒューネットへ株式の譲渡を実施いたしました。

(3) 事業分離を行った主な理由

包括業務提携契約の趣旨に鑑み、効率的に開発型の不動産事業を運営するためであります。

(4) 事業分離日

平成19年3月31日

2. 持分変動差額の金額及び会計処理

持分変動差額の金額 : 該当事項ありません

会計処理 : 譲渡金額と平成19年3月31日における適正な帳簿価額との差額を移転損益として認識する処理を実施しております。なお、当該事業譲渡により譲渡益が519,671千円発生しておりますが、その他の関係会社との取引であるため未実現利益として全額控除しております。

3. 事業の種類別セグメントにおいて、分離した事業が含まれていた事業区分の名称

不動産事業

4. 当該連結会計年度の連結損益計算書に計上されている、分離した事業に係る損益の概算額

<u>売上高</u>	<u>137,243千円</u>
<u>営業損失</u>	<u>69,954千円</u>
<u>経常利益</u>	<u>46,800千円</u>

以 上